

容量6.5kg

50/60Hz共用

このたびは日立2槽式電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.3~5)をお読みいただき、正しくお使いください。

日立の家電品
お客様サポート

ホームページから
以下のサービスが
ご利用いただけます。

▶ 家電品の登録 ^{※1}

▶ よくあるご質問

▶ お知らせ

▶ お問い合わせ

※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。

詳しくは→(P.24)

もくじ

ページ

安全上のご注意	3
使用上のご注意	6
上手なお洗濯をするには	7
洗濯の準備をするときは	7
洗濯槽への洗濯物の入れかた	7
脱水槽への洗濯物の入れかた	8
洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた	8
石けん(天然油脂)を使うとき	8
色移り・黒ずみを防ぐには	8
洗濯ネットを使うときのお願い	8
各部のなまえ・付属品	9
操作パネルのはたらき	10
お洗濯の順序	10
準備	10
① 洗い	12
② 中間脱水・脱水予備すぎ	12
③ 本すぎ	14
④ 脱水	14
後始末	15
いろいろなお洗濯のしかた	16
ドライマーク付きの洗濯物を洗うとき	16
毛布を洗うとき	16
お手入れのしかた	17
据え付け	18
修理を依頼される前に	19
保証とアフターサービス	20
別売り部品	23
仕様	23

特長

つけおき洗いができる 「つけおきタイマー」搭載

タイマーをセットすれば、20分間のつけおき洗いのあと、自動的に本洗いを始めてしっかり汚れを落とします。

ステンレス脱水槽&抗菌 パルセータ

抗菌パルセータを採用。ステンレス脱水槽&抗菌パルセータで気持ちいいお洗濯。



お知らせブザー

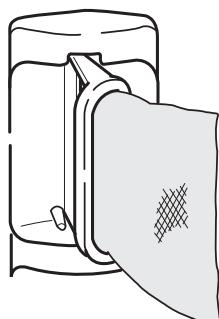
「洗い」「すすぎ」の終了をブザーでお知らせ。

水流切り替え

「標準」「ソフト」の水流切り替えで、ウールや毛布なども洗えます。

糸くずフィルター

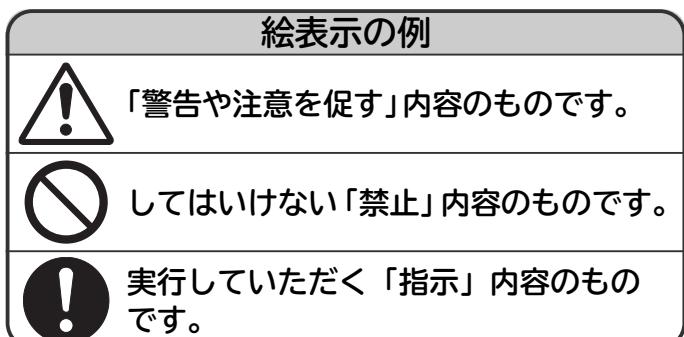
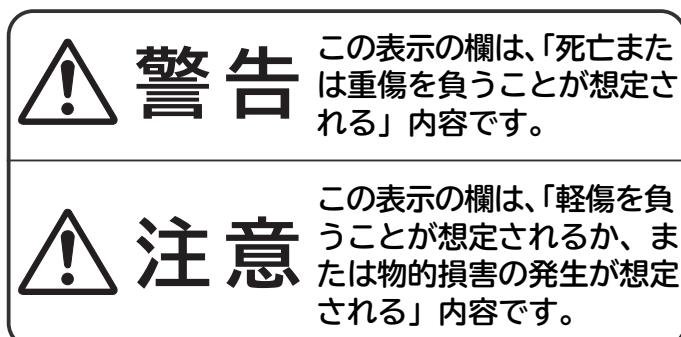
左右いずれの回転でも、糸くずを捕集します。



安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。



電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐために (感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ)



- 電源コードを傷つけない
 - ・傷つけない、加工しない
 - ・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
 - ・加重をかけない、挟み込まない
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
- 傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
- タコ足配線をしない、延長コードを使用しない



- 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで差し込む
- 電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る



プラグを抜く

- 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く
- お手入れの際や長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く



アース線の接続

- アース線を取り付ける
 - アース線の取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。
 - (工事費は、本体価格に含まれていません)

本体の故障や事故を防ぐために (電気部品を傷めたり、振動で本体が転倒したりするおそれ)



水場禁止

- 浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない



- キャスターの付いている台など、不安定な場所に据え付けない

安全上のご注意（続き）

⚠ 警告

運転時の爆発や火災を防ぐために（油の酸化熱による自然発火や引火のおそれ）



- 引火物や火気を洗濯槽・脱水槽に入れない、近づけない
 - ・灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールおよびそれらの付着した洗濯物
 - ・ローソク、蚊取り線香、たばこ
- 揮発性溶剤（灯油、ガソリン、ベンジン、シンナーなど）やカセイソーダを使って洗濯しない
 - ・それらの付着したものを洗濯しない

感電、漏電、ショートによる火災を防ぐために



プラグを抜く

- 本体が動かない、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
 - ・修理は販売店などにご相談ください。



水濡れ禁止

- 本体各部や電源プラグに水や洗剤などをかけない

子どもの事故を防ぐために（洗濯槽・脱水槽の中に落ちてけがをするおそれ）



- 子どもに洗濯槽・脱水槽の中をのぞかせない、本体の近くに台を置かない
 - ・洗濯槽・脱水槽内に落ちてけがをしたり、感電、おぼれるおそれがあります
- 操作に不慣れな方だけでは使わせない



- 付属品が梱包されているポリ袋は、子どもの手の届かないところに置く
 - ・ポリ袋を頭にかぶると、窒息するおそれがあります。

脱水槽への巻き込まれを防ぐために（ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをするおそれ）



- 脱水槽が完全に止まるまで、中の洗濯物などに手を触れない
 - ・手に巻きついてけがをするおそれがあります。
 - ・特に子どもには注意してください。
- 脱水中、ふたを開けてから15秒以内に脱水槽が止まらない場合は、使用を中止し、修理を依頼する
 - ・けがの原因になります。

洗濯運転時の発泡を防ぐために（泡が多量に発生し、本体の故障・水漏れ・感電のおそれ）



- 洗剤は表示に従って適量を入れる

⚠ 注意

洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷を防ぐために

(脱水槽のバランスがくずれて異常振動が発生し、洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷、洗濯物の飛び出し、本体の転倒のおそれ)



●防水性の衣料・繊維製品は、洗い・すぎ・脱水をしない

防水性の衣類は水を通さないため、洗濯・脱水をしても衣類の中に水が溜まっています。そのまま脱水をすると、溜まった水が急激に移動し、回転バランスが崩れて異常振動が発生することがあります。脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、洗濯機や周囲の壁や床などを破損することがあります。また、洗濯機が転倒することもあります。

——防水性・繊維製品の例——

釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウインドブレーカー、紙おむつ、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、カーペット、防水性マット・シート、足ふきマットなど硬くて厚いものなど(洗える表示があっても洗わないでください)

けがを防ぐために



●脱水運転中は脱水キャップを正しく入れる

洗濯物が飛び出して、けがをするおそれがあります。



●運転中は本体の下に手足などを入れない

●本体に手を置いてふたの開閉をしない

接触禁止

本体に手を置いてふたの開閉をすると、ふたと本体の間に指や手を挟むおそれがあります。

水漏れを防ぐために



●排水口が掃除できるように設置する

排水口が詰まると、排水不良による排水口からの水漏れの原因になります。

排水ホースを排水口から外し、再度差し込む場合は、先端が排水管に確実に差し込まれていることを確認してください。

洗濯物の損傷を防ぐために



●洗濯物のひもなどは結び、ファスナーやボタンを閉めてから洗濯槽・脱水槽に入れる



●本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしない

●洗剤を入れすぎない

排水口から泡があふれ、水漏れするおそれがあります。

●硬貨やヘアピン、つまようじなどの先のとがったものなどを洗濯槽・脱水槽内に入れない

洗濯物のポケットの中なども確認して、ある場合は取り除いてから洗濯槽・脱水槽内に入れてください。

●50°C以上のお湯を使用しない

●ふたなどのプラスチック部品や、本体に洗剤(特に液体洗剤)や柔軟剤、漂白剤がついた場合は、湿った柔らかい布ですぐにふき取る

本体のさびの発生、破損、プラスチック部破損の原因になります。

●別売り部品の洗濯機用トレー→(P.23)を設置する

水漏れや結露により、床面がぬれたり汚れたりするおそれがあるため、洗濯機用トレーをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

使用上のご注意

■水圧が高い場合は水栓を絞る

給水ホースが外れたり、注水口以外から水が漏れことがあります。

■凍結の恐れのあるとき

残水を排水したあと、水流/排水切換を「標準」にセットしておいてください。

もし凍結したときは、約40℃のお湯を2L(リットル)程度入れ、パルセータが回るようになってからご使用ください。

■靴などを洗ったり、脱水したりしない

本体の故障や事故の原因になります。

■テレビやラジオを近づけない

テレビの画面が乱れたり、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

■電源プラグをコンセントから抜き、洗濯機を移動し、下側を掃除する

ほこりなどがモーターに入り込むおそれがあります。また、水漏れの点検にもなります。

■水はねが気になる場合はふたをする

床をぬらすのを防ぐためです。

■使用後は電源プラグを抜く

火災の原因になります。

■漂白剤を使うとき

●漂白剤を直接洗濯物にかけないでください。変色、布破れの原因になります。

●使用量および使いかたについては、漂白剤の表示に従ってください。

■入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従う

色移りや変色などを防ぐためです。

■洗濯ができないもの

次のような衣類は洗濯機で洗濯できませんので、ご注意ください。

- 皮革・毛皮・羽製品、およびその装飾品付き製品



- レーヨン、キュプラおよびその混紡品
 - ・縮んだり、型くずれしたり、変色する場合があります。



- 絹製品
 - ・縮んだり、型くずれしたり、変色する場合があります。



- 和服、和装小物製品



- 強くよじった糸(強撚糸)を使用した製品(ウール、ちりめんなど)



- コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工をした製品

- ベルベットなどのパイル地製品



- ネクタイ、スーツ、コート
 - ・縮んだり、型くずれする場合があります。

- 洗濯絵表示や表示がないもの、素材表示がないもの

- 毛100%や毛足10mm以上の毛布、カーペットカバー

- 靴

上手なお洗濯をするには

洗濯の準備をするときは

ご注意 取扱絵表示を確認してください。



糸くずが気になるものはネットに入れる

コーデュロイ(起毛素材の洗濯物)や濃い色の洗濯物、ストッキングなど、糸くずの付着が気になる洗濯物は、市販の「糸くず防止用洗濯ネット」に入れて洗ってください。



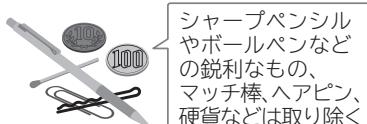
色落ちしやすいものは分けて洗う

著しく色落ちする洗濯物は分けて、同類の洗濯物を2~3枚まとめて洗ってください。



シャープペンシルなどは取り除く (ポケットの中も確認する)

衣類を傷めたり、槽の穴開きによる水漏れなどの故障の原因になります。



しみは早めに処理しておく

しみは時間がたつと落ちにくくなりますので、洗濯前に部分洗い洗剤などで処理しておくと、より効果的です。



デリケートな洗濯物はネットに入れる

- レースのついた洗濯物やブラウス、ストッキング、タイツなどは、「洗濯ネット」に入れてください。
- ワイヤー入りブラジャーは、「ブラジャー専用ネット」に入れてください。



大きなゴミ、泥や砂、髪の毛、ペットの毛は取り除く

排水経路にゴミや異物が詰まり、故障の原因になります。



ひもは結んで、ファスナーは閉める

ファスナーなどによる洗濯物の傷みや、本体の故障を防ぐためです。



毛玉や糸くずが気になるものは裏返す・分けて洗う

- セーターなど糸くずが気になるものは裏返してください。
- 気になるものは、タオル、バスタオルとは分けて洗ってください。



洗濯槽への洗濯物の入れかた

大物や水に浮きやすいもの、厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物から先に入れる

布の動きが良くなります。



上手なお洗濯をするには（続き）

脱水槽への洗濯物の入れかた

- 衣類の飛び出しを防ぐために、脱水キャップを使用してください。
脱水キャップは水平にセットしてください。→(P.12)
- 脱水槽へ衣類を入れるときは、片寄らないよう均等に入れてください。
脱水槽が大きく振動し、正常な脱水が行えません。
脱水中、異常な振動がある場合は、脱水を止めて衣類を均等に調整してください。
- 木綿(特にタオル類)など水を多く含むものは、脱水槽全体に広げて平らに入れてください。
絞ったまま投入すると、衣類が片寄りやすいので、脱水槽が大きく振動するおそれがあります。

洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた

洗剤・漂白剤の使いかた

洗濯槽の底から10cm位に給水し、水をかくはんしながら洗剤を入れ、2分ほど運転します。→(P.12)
漂白剤を使用する場合は、洗剤と一緒に溶かしてください。→(P.13) 表3

柔軟剤の使いかた

すすぎの最後に柔軟剤を入れ、2~3分運転します。

石けん(天然油脂)を使うとき

洗濯機で直接溶かす場合

- 洗濯槽の底から10cm位に給水し、水をかくはんしながら石けん(天然油脂)を入れ、2分ほど運転します。
- 石けん(天然油脂)は、合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すぎを行ってください。
すぎが十分でないと、黄ばみやにおいの原因になることがあります。
 - 使用量が多すぎたり、低温の水に直接入れたりすると、溶け残った石けん分や石けんかすがホースや洗濯槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。

溶けにくい場合

- 1 30°Cぐらいのぬるま湯を、約5L(リットル)別容器に用意します。
- 2 かき回しながら、適正量の石けん(天然油脂)を少しづつ入れます。
石けん(天然油脂)が固まつたり粒が残つたりしないよう溶かしたあと、洗濯槽に入れます。

色移り・黒ずみを防ぐには

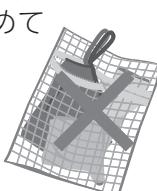
- 色落ちしやすいものは分けて洗ってください。
- 洗剤や柔軟剤は、表示に従って適量を入れてください。
洗剤が少なかつたり、柔軟剤を入れ過ぎたりすると、黒ずみの原因になります。
液体洗剤を使用すると、黒ずみの原因になります。粉末洗剤をお試しください。

洗濯ネットを使うときのお願い

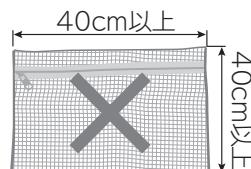
ネットには洗濯物を詰め込み過ぎないでください。



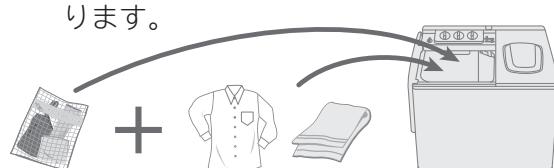
ネットのファスナーはきちんと閉めてください。



一辺が40cm以上の大きなネットは使用しないでください。
洗濯物が片寄り、運転できないことがあります。

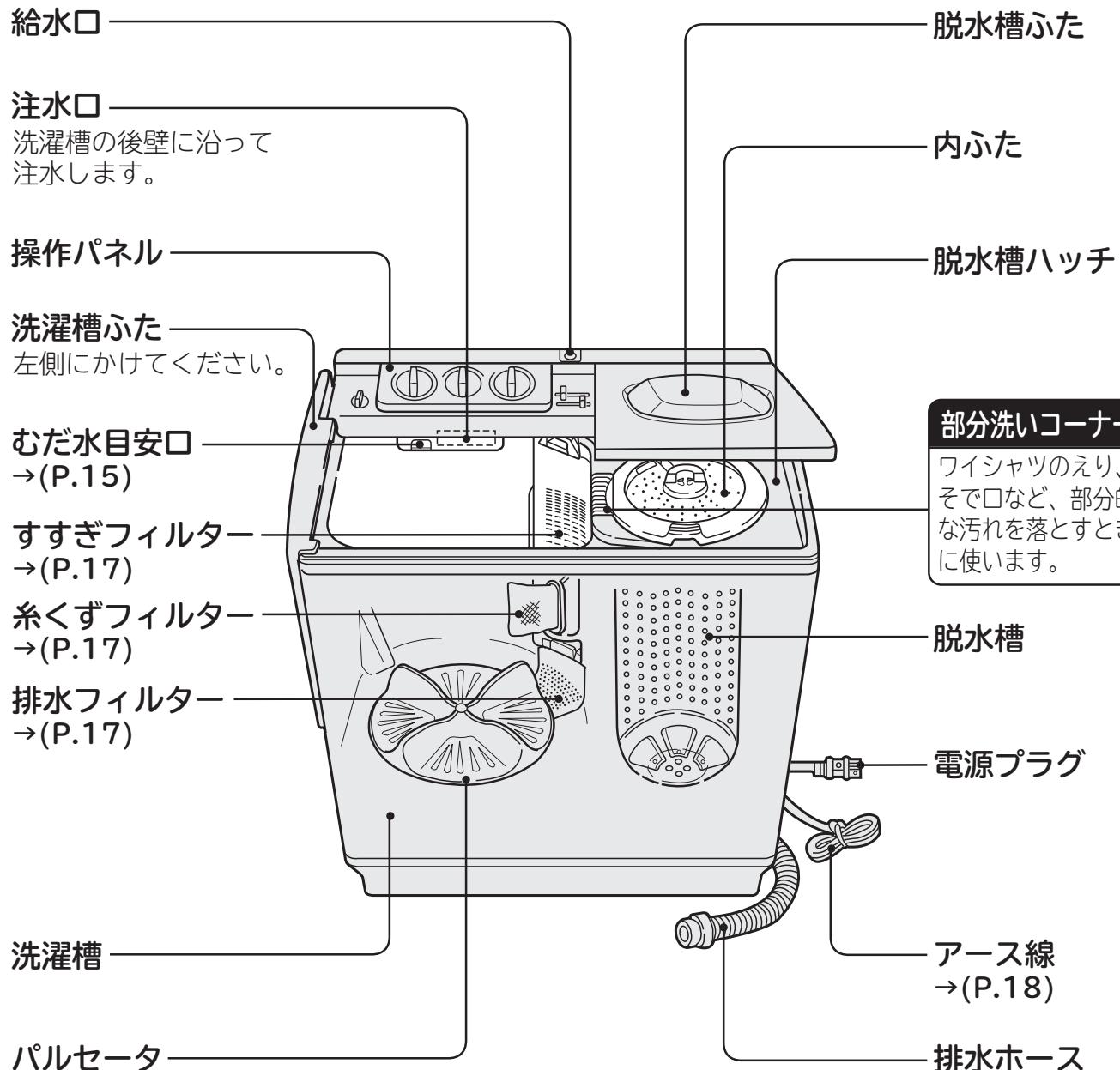


洗濯物を入れたネットだけで運転しないでください。
ほかの洗濯物を追加してください。



各部のなまえ・付属品

→(P.○○)カッコ内の数字は主な説明のあるページです。



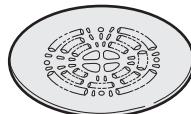
付属品

給水つぎて (1個)



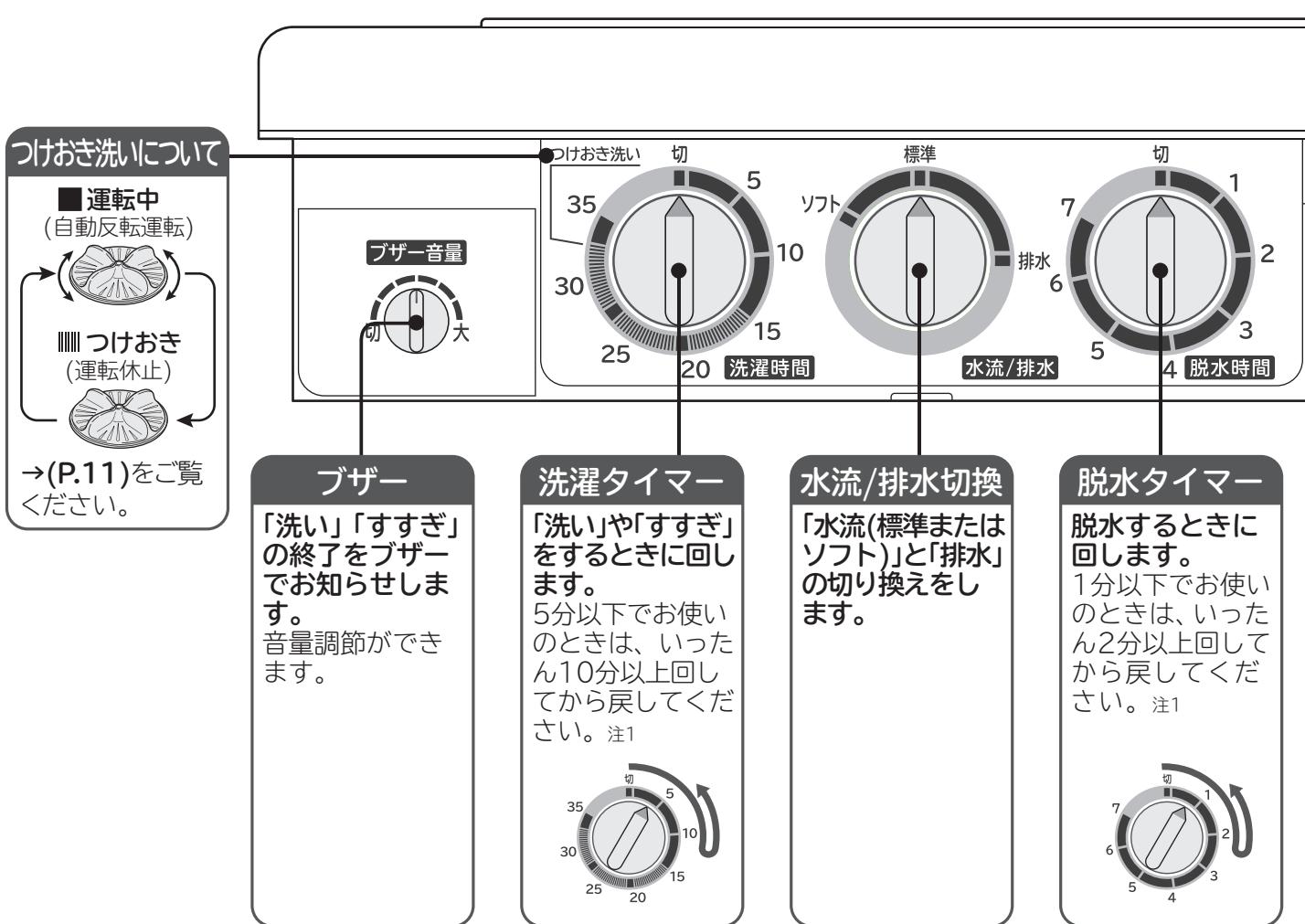
→(P.10)

脱水キャップ (1個)



→(P.12)

操作パネルのはたらき



注1：時間が短い場合、タイマーが切れずに途中で止まり、モーターが回り続けるおそれがあります。

お洗濯の順序

→(P.○○)カッコ内の数字は主な説明のあるページです。

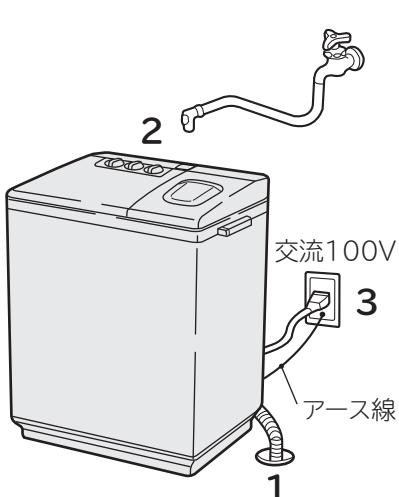
準備

1 排水ホースを排水口につなぐ。

2 給水つぎてを給水口に差し込み、つめがカチッと音がするまで押し込む。



3 アース線を接続し、電源プラグをコンセントに差し込む。

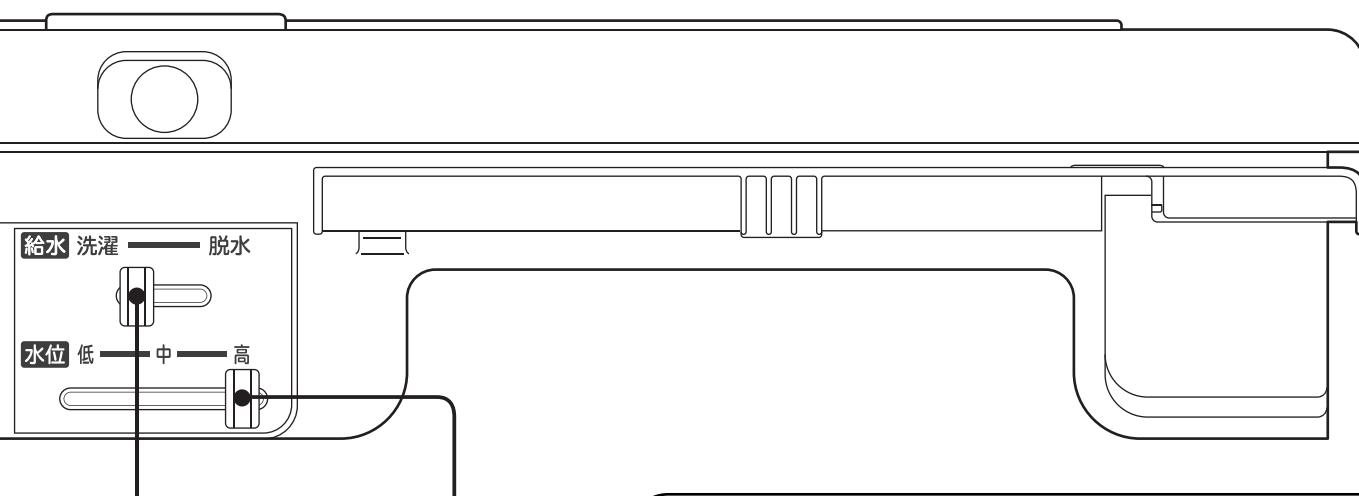


1

洗 い

- 水流を選ぶ
- 洗剤を溶かす
- 給水する
- 洗濯タイマーをセットする

→(P.12)



給水切換

洗濯槽と脱水槽への給水の切り換えをします。
「脱水」側では「脱水予備すすぎ」ができます。

水位切換

水位を選ぶときに切り換えます。

つけおき洗いの機能・特長

- つけおき洗いにすると、洗濯効率が上がります。
- 標準洗いに比べ、しっかりきれいに洗えます。
- つけおき洗いを使うには、洗濯タイマーのつまみを35分から15分の間の位置に合わせます。この位置から15分の位置につまみがくるまで、つけおき洗いで運転します。
(は運転し、パルセータが回転し、自動反転します。
は運転休止の状態で、パルセータは回転しません)
15分の位置からは、通常の洗濯運転が始まります。

ご注意

- 色落ちしやすい衣類は洗わないでください。
- 石けん(天然油脂)は使用しないでください。
黄ばみや黒ずみになるおそれがあります。
- 入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の説明をお読みになり、ご使用ください。衣類への色移り(特にピンク系のもの)やステンレス槽をさびさせるもの(イオウ配合のもの)があります。

2

中間脱水・脱水予備すすぎ

- 脱水を2~3分する
- 約1分間給水する
- 1分間脱水する

→(P.12)

3

本すすぎ

ためすすぎまたは注水すすぎをする

→(P.14)

4

脱水

→(P.14)

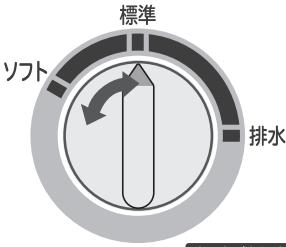
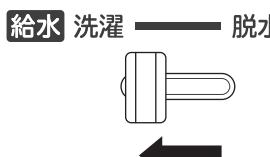
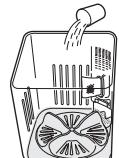
後始末

→(P.15)

お洗濯の順序 (続き)

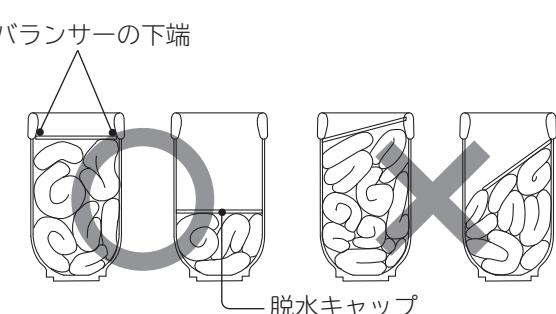
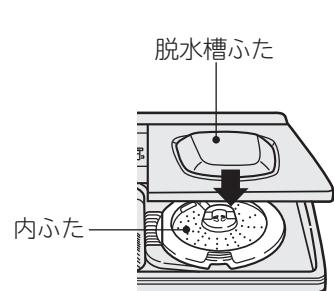
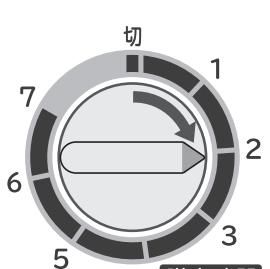
1

洗 い

1 水流/排水切換を「標準」または「ソフト」にセットする	2 給水切換を「洗濯」側にセットする	3 水位切換をセットする	4 洗剤を溶かす
 →(P.12) 表1	 →(P.13) 表3	 →(P.13) 表3	1 洗濯槽の底から10cm位に給水する 2 洗剤を入れる 漂白剤を使用する場合は、洗剤と一緒に入れて溶かしてください。 →(P.13) 表3 3 洗濯時間を約2分(洗濯時間の切と5分の中間ぐらい)にセットし、洗剤を溶かす いたん10分以上回してから戻します。 

2

中間脱水・脱水予備すすぎ

1 洗濯物を脱水槽に入れる (脱水キャップを取り付けてください)	2 ふたを閉める	3 脱水する
 洗濯物を脱水槽に均等に入れ、脱水キャップをバランスーの内側に水平に入れます。 振動が大きくなったり、洗濯物が飛び出してけがをすることがあります。	 内ふた、脱水槽ふたを閉めます。	 脱水タイマーを2~3分に合わせます。

お洗濯の目安

表1 水流と洗濯時間

洗濯物の種類	洗濯時間	水 流	標準洗濯量
ひどい汚れ、厚物	10~15分	標準	6.5kg以下
麻・木綿など	8~10分		
普通の衣類(下着など)	7分		
化せんなどの汚れの軽いもの	2~5分		
手洗い表示のある毛100%、毛混紡のニット製品、薄い化せん	2~5分	ソフト	1.5kg以下

●標準洗濯量はJIS(日本工業規格)で規定された布地を洗濯した場合のものです。
 洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗える量が変わります。

●普通の衣類では標準洗濯量の7~8割程度が適当です。

表2 洗濯物の重さの目安

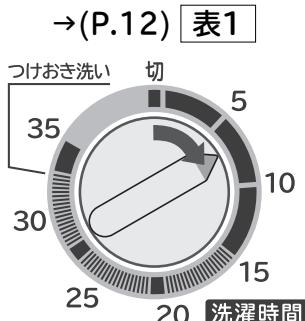
洗濯物の種類	生地の種類	1枚当りの重量
プリーフ	綿100%	約 50g
靴下	綿100%	約 50g
タオル	綿100%	約 70g
長袖アンダーシャツ	綿100%	約150g
ブラウス	混 紡	約200g
ワイシャツ	混 紡	約200g
バスタオル	綿100%	約300g
パジャマ(上・下)	綿100%	約500g
シーツ	綿100%	約500g

5 洗濯物を入れ給水する



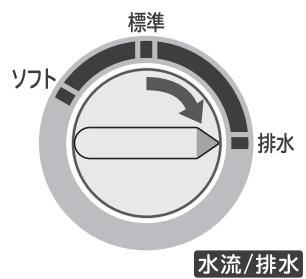
給水量が多すぎる(1分間に30L(リットル)以上の給水をする)と、脱水側へ水がもれることができます。水量を調節してください。

6 洗濯タイマーをセットする



5分以下でお使いのときは、いったん10分以上回してから戻します。

7 洗い終わったら

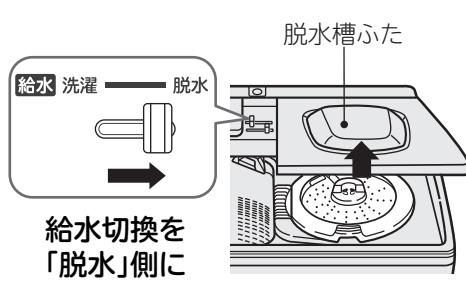


水流/排水切換を「排水」に合わせ排水します。

「本すすぎ」の前に「中間脱水」を行い、洗剤分を取っておきます。

さらに4~6の「脱水予备すすぎ」をすると「本すすぎ」の時間を短くでき、より節水できます。

4 ふたを開け、給水切換を「脱水」側にセットする



給水切換を
「脱水」側に
します。

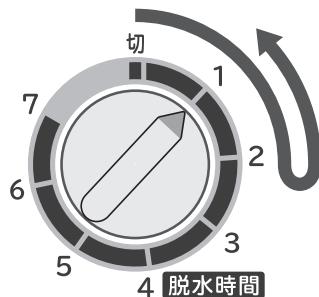
脱水槽ふたを開けます。

5 約1分間給水する



- 給水量が多すぎる(1分間に10L(リットル)以上の給水をする)と、洗濯側へ水がもれることができます。水量を調節してください。
- 脱水槽が回っているときは給水しないでください。
- 脱水槽に給水しても水はたまりません。

6 ふたを閉めて脱水する



給水を止めて、再び1分脱水し
ます。

いったん2分以上回してから戻します。

表3 水位と洗剤・柔軟剤・漂白剤量

●洗濯物の取り扱い絵表示に示されている洗剤・柔軟剤・漂白剤をお使いください。

●洗剤や柔軟剤・漂白剤の使用量は、容器の「使用量の目安」を参考にしてください。

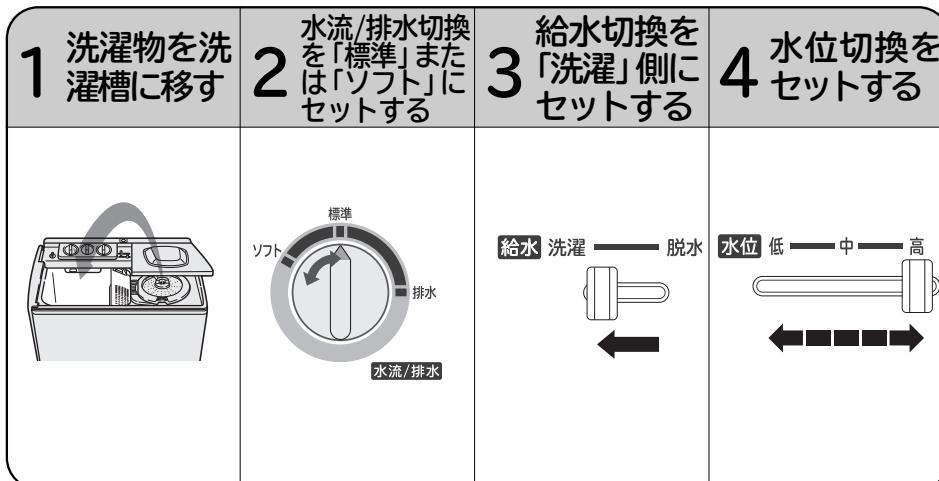
標準 洗濯量	水位	水量	合成洗剤			石けん (天然油脂)		柔軟剤			漂白剤 (30Lあたり)
			粉末		液体	液体 中性	粉末	液体	濃縮	普通	
			(水30Lあたり)		(水30Lあたり)			(水30Lあたり)		(水30Lあたり)	
			20g	25g	10mL	20mL	25mL	40mL	36g	40mL	4mL
4.0~6.5kg	高(3)	43L	29g	36g	14mL	29mL	36mL	57mL	52g	57mL	6mL
2.5~4.0kg	中(2)	33L	22g	28g	11mL	22mL	28mL	44mL	40g	44mL	4mL
2.5kg以下	低(1)	25L	17g	21g	8mL	17mL	21mL	33mL	30g	33mL	3mL
									6mL	8mL	17mL
									8mL	11mL	33mL

お洗濯の順序 (続き)

3 本すすぎ

「本すすぎ」には「ためすすぎ」と「注水すすぎ」があります。

- 「ためすすぎ」をすると節水になります。
- 「注水すすぎ」は念入りにすすぎたいとき行います。



ためすすぎ

節水

水をためてすぐ

注水すすぎ

念入り

水を流しながらすぐ

4 脱水

洗濯物を脱水槽に移し、脱水する。[中間脱水・脱水予備すすぎの1~3と同じ操作をします→(P.12)]

警告



脱水槽が止まるまでは、中の洗濯物に手などを触れない。

ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをするおそれがあります。特に子どもにはご注意ください。



脱水中、ふたを開けてから15秒以内に脱水槽が止まらない場合は、使用を中止し、修理を依頼する。

けがの原因になります。

■脱水時間の目安

洗濯物	脱水時間
シーツ(木綿、タオル地)	3~5分
アンダーシャツ(木綿)	2~4分
ワイシャツ(混紡)	1~2分
薄物(化せん)	1分

脱水槽に洗濯物を入れずに脱水運転を行うと、「ピー」という風切り音がすることがあります。これは脱水槽が高速で回転しているためであり、異常音ではありません。浴用タオルを1枚程度入れるとなくなります。

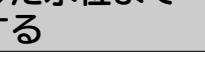
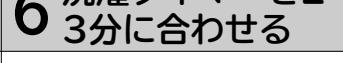
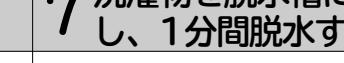
すすぎのポイント

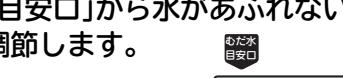
■「洗い」終了時に洗濯槽の底のあわ残りが気になる場合

水流／排水切換を「排水」にして洗濯槽に給水しながら洗濯タイマーをまわしてパルセーターを約1秒間ほど回転させ、その後洗濯タイマーを「切」に戻す。この動作を3~4回繰り返してください。
(あわを水の中に巻き込ませるための操作です)

■「すすぎ」終了時に水面のあわ残りが気になる場合

「すすぎ」の最後に3分ほどソフト水流で注水すすぎをしてください。
あわ残りを少なくすることができます。
「すすぎ」が終わった水を次の「洗い」に利用すると節水になります。

5 設定した水位まで給水する	6 洗濯タイマーを2~3分に合わせる	7 洗濯物を脱水槽に移し、1分間脱水する	8 脱水後1分ほどしてから排水する
 <p>給水量が多すぎる(1分間に30L(リットル)以上の給水をする)と、脱水側へ水がもれことがあります。水量を調節してください。</p> <p>水位に達したら水栓を閉めます。</p>	 <p>つけおき洗い 切 35 30 25 20 15 洗濯時間 10 5</p> <p>いったん10分以上回してから戻します。</p>	 <p>切 7 6 5 4 脱水時間 1 2 3</p> <p>いったん2分以上回してから戻します。</p>	 <p>標準 ソフト 排水 水流/排水</p> <p>脱水側の排水をよくするためです。</p> <p>すぎが不十分の場合は、5~8をさらに1~2回繰り返します。</p>

5 設定した水位まで 給水する	6 水量を調節して給水を続ける	7 洗濯タイマーを3~5分に 合わせてすぐ
 <p>給水量が多すぎる(1分間に30L(リットル)以上の給水をする)と、脱水側へ水がもれることができます。水量を調節してください。</p>	<p>「むだ水目安口」から水があふれないよう、水量を調節します。</p>  <p>注水すぎ時の水位は、洗濯水位より高くなっています。 ※水位線よりも内部のいっ水口が高くなっているためです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●いったん10分以上回してから戻します。 ●すぎが終わつたら水栓を閉めます。 ●中間脱水・脱水予備すぎを行っていないときは、7分にセットします。 

後 始 末

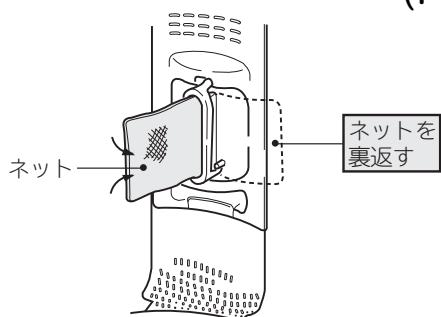
- ## 1 電源プラグをコンセントから抜く。

- ## 2 フィルターについて糸くずを取り除く。

警告

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。感電やけがをすることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持つて引き抜く。
感電やショートして発火することがあります。



脱水のポイント

- くつ下やハンカチなどの小物は、飛び出しを防ぐため脱水槽の底の方に入れてください。
 - 脱水中に異常音がしたら、脱水を止め、洗濯物を均等に入れ直してください。
 - 排水をよくするため、脱水したあとで、洗濯槽の水を排水してください。
 - 洗濯物は脱水槽に均一に入れてください。均一に入れないと、振动が大きくなることがあります。

■脱水槽の外側に洗濯物が落ちたとき

- 1 電源プラグをコンセントから抜く。
 - 2 お買い上げの販売店に連絡していただき、修理を相談する。→(P.21)

いろいろなお洗濯のしかた

ドライマーク付きの洗濯物を洗うとき

洗濯できるもの

衣類の取扱絵表示

(手洗いができる)表示または、(洗濯機による洗濯ができる)表示のもの
(ドライクリーニングができる)表示と、または表示の組み合わせのもの

■上記の絵表示があっても、洗えないものがあります。→(P.6)
クリーニング店にご相談することをおすすめします。

- セーター、カーディガン(ウールなど)
- スラックス、スカート(混紡など)
- ブラウス、シャツ、ワンピース(ポリエステルなど)
- 学生服、セーラー服



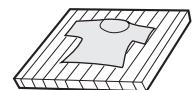
※ (家庭での洗濯禁止)表示のものは、洗濯機で洗濯できませんのでご注意ください。
(石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示のものは、洗濯機は使用できません。

■水位の目安

水位	洗濯物の量
高(3)	1.5kg

お洗濯のポイント

- 洗濯物の絵表示の洗剤を溶かしてご使用ください。
毛、ニットの洗濯は約30℃のぬるま湯が適当です。
- 洗濯物は裏返しにして、市販のネットに入れ、
洗濯液にしみ込ませてください。
- 汚れがひどいときは、あらかじめ洗濯液に
つけ置きすると(5分程度)効果的です。
- 干しかた
形くずれしないように、風呂の
ふたなどを使って平干します。



■お洗濯の目安

水流	洗い	中間脱水	注水すぎ	脱水
ソフト	約2分	30秒以下	約2分	30秒以下

毛布を洗うとき

洗濯できる毛布

- (手洗いができる)表示の毛布。
- アクリル、またはポリエステルのマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布
[1枚の重さが2.4kg以下(シングルサイズ)]
- 電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。



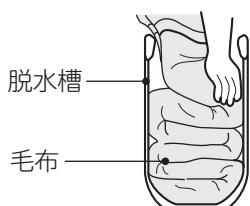
ほかの洗濯物を追加しないでください。

■お洗濯の目安

洗濯量	水位	水流	洗いかたの目安					
			洗濯時間	脱水	ためすすぎ	脱水	注水すぎ	脱水
2.4kg以下	高(3)	標準	5分	1分	2分	1分	2分	3分

お願い

- 洗剤は合成洗剤を使用し、あらかじめ溶かしてください。
- 洗濯中に毛布が浮き上がった場合は、洗濯液に押し込んでください。
- 脱水槽に移すときは、軽く絞りながら、右の図のように脱水槽に入れてください。毛布
脱水キヤップをご使用ください。脱水キヤップのセットのしかたは(P.12)



お手入れのしかた

本体に付いたほこりや汚れは、湿った柔らかい布でふき取ってください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

糸くずフィルターやすすぎフィルターはご使用ごとに清掃してください。

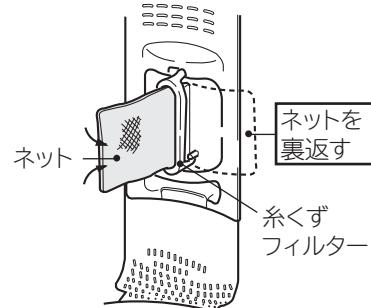
糸くずフィルター

糸くずは湿っているときの方が、簡単に取れます。

■糸くずの取り除きかた

1 ネットを裏返しにして糸くずを取り除く。

2 ネットを元どおりに戻す。

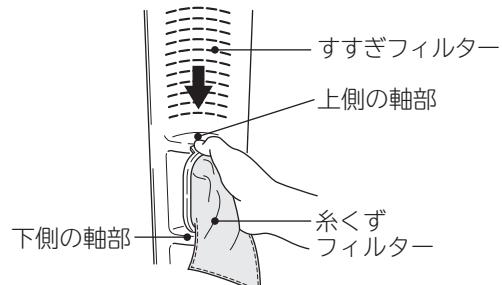


■糸くずフィルターを外すとき

1 上側の軸部を下の方向に押して、手前に引く。

2 元どおりにセットする。

上側の軸を穴に差し込み、下側の軸を合わせ、カチッと音がするまで押し込みます。



お願い

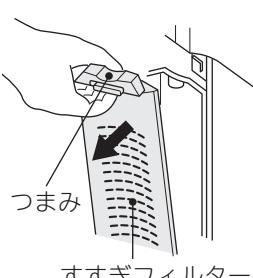
糸くずフィルターは消耗品です。

ネットが破れたときは、販売店でお買い上げください。→(P.23)

すすぎフィルター

1 すすぎフィルターを図のように手前にひっぱりながら外して、糸くずを取り除く。

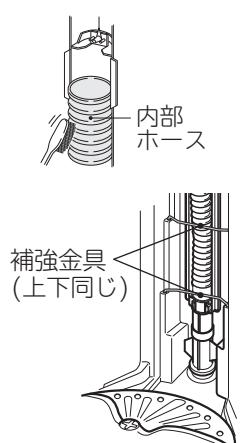
内部ホースは歯ブラシなどを使って掃除します。水位を「高(3)」にセットすると容易にできます。



2 元どおりにセットする。

フィルターの下側を先に差し込んでから取り付けます。

※内部ホースを清掃中に補強金具が外れた場合は、右図の位置に補強金具を差し込んで取り付けてください。



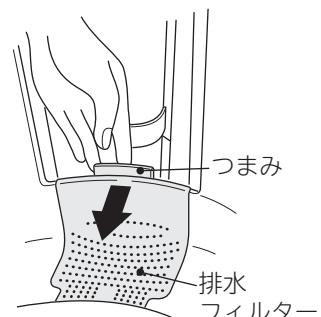
排水フィルター

1 すすぎフィルターを外す。

2 つまみをひっぱり排水フィルターを外し、糸くずを取り除く。

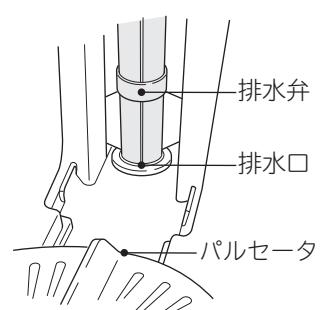
3 水流/排水切換を「排水」にして排水弁についた糸くず、排水口の砂やどろを取り除く。

歯ブラシなどでこすり水で洗い流してください。



4 元どおりにセットする。

パルセータ側から差し込みセットします。



お手入れのしかた（続き）

脱水槽のお手入れ（清潔に脱水するために）

ご使用後は次の手順でお手入れをしてください。

脱水槽の中にヘアピンやピンなどのさびやすい鉄製品が残ったり、赤さびや鉄粉などの混じった水が槽内に残っている場合は、取り除いてください。さびが発生することがあります。

さびにご注意

ステンレス槽は、さびにくい性質を持っていますが、次のような場合には、さびが発生することがあります。

- ① ヘアピンやピンなどの、さびやすい鉄製品が槽に残り、接触したまま放置したとき。
- ② 赤さびや鉄粉などの混じった水が槽内に入って、赤さびが槽に付着したとき。

さびに気がついたら、市販のクリームクレンザーをスポンジか布につけて、さびを取り除いてください。（詳しくは洗剤の表示をご覧ください）

金属たわしなどは槽を傷つけ、槽がさびやすくなりますので使用しないでください。

さびの発生を防ぐために、次のことをお守りください。

長期間、槽に洗濯物を入れたままにしないでください。



据え付け

初めてお使いになるとき、排水ホースから水が出ることがありますが、これは工場の性能テストの残水です。開梱時ほこりが付いていることがあります、これは倉庫保管時に付いたものです。

洗濯機の据え付け

乾燥した風通しのよい、水平でしっかりと床に据え付けてください。

ご注意 直射日光の当たる場所は避けてください。洗濯機の部品の変形、変色のおそれがあります。

アース線の取り付け

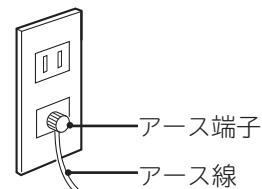


警告

アースを取り付ける。

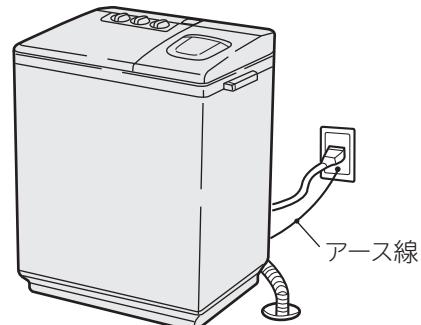
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

アースの取り付けは販売店にご相談ください。



■アース線は取り付けてください。

- 万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもお勧めします。
- アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 設置場所の変更や転居の際には、アースの取り付けを行ってください。



アース端子がある場合

アース線をアース端子に取り付けてください。

アース端子がない場合

アース工事をしてください。

電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています。

ご注意

次のようなところには、アース線を接続しないでください。（法令などで禁止）

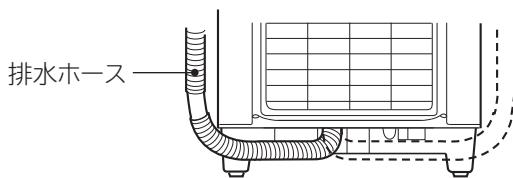
ガス管、電話線、避雷針、水道管

水道管は途中から塩ビ管になっている場合がありますので避けてください。

据え付け (続き)

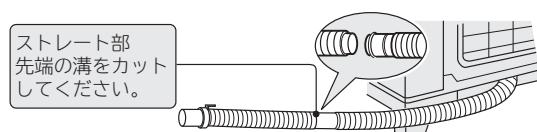
排水ホースについて

排水ホースは、洗濯機の後ろ側から出ています。排水ホースは左右に引き出せますので、排水場所にあわせてご使用ください。



■ホースが長い場合

ホースが長く余る場合は、ホースの途中にストレート部がありますので、ナイフなどでカットしてください。



■排水ホースを延長する場合

延長する部分の長さは2m以内にする
ホースの延長には、別売り
部品の延長用排水ホース(部品番号KW-50K1 023)
をお勧めします。→(P.23)



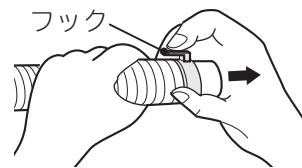
■排水ホースの途中が持ち上がる場合

洗濯機を台の上において、排水の流れをよくしてください。



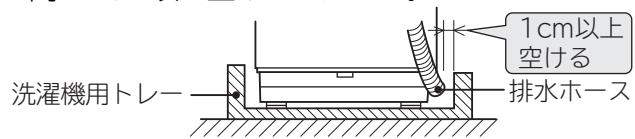
■フックが当たって、排水ホースが排水口に差し込めない場合

フックを回しながらひっぱって外します。



■洗濯機用トレーと組み合わせる場合

別売りの洗濯機用トレーを使う場合は、排水ホースがつぶれないように、洗濯機用トレーと排水ホースの間を1cm以上空けてください。



修理を依頼される前に

異常が生じたときは、次の点検をしてください。

症状	確認するところ	症状	確認するところ
運転しない	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。●電源プラグとコンセントが接触不良になっていますか。●パルセータの周囲の残水が凍結していませんか。→(P.6)	脱水ができない	<ul style="list-style-type: none">●洗濯物が片寄っていませんか。●落ちた洗濯物が排水口をふさいでいませんか。●脱水槽の周りがあわでいっぱいになっていますか。●排水ホースの途中が持ち上がりませんか。また、2m以上延長されていませんか。
洗濯物の動きがよくない	洗濯物を入れ過ぎていませんか。	洗濯水がホースから漏れる	排水弁や排水口部に糸くず、砂やどろがたまっていますか。→(P.17)
脱水槽が動かない	<ul style="list-style-type: none">●脱水槽ふたが閉まっていますか。●脱水槽の外側に洗濯物が落ち、軸に巻きついていませんか。(くつ下など)→(P.15)	排水ができない	<ul style="list-style-type: none">●排水フィルターやすすぎフィルターが糸くずで詰まっていますか。→(P.17)●排水ホースがつぶれていますか。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障および損傷。
- (二) 一般家庭用以外(《例えば業務用などへの長時間使用および車両(車載用を除く)、船舶への搭載》)に使用された場合の故障および損傷。

保証期間: お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→(P.21)にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

修理を依頼されるときは

出張修理

19ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	電気洗濯機
型式	ピーエス エーエス PS-65AS2
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外でご使用になるとき

理容院や美容院などでタオルなどの洗濯に、また、寮や病院などで共同でご使用になり、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短期間で部品の交換(駆動部ユニット、ベルトなど)が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをおすすめします。

●このようなご使用は、保証期間の対象外となります。

愛情点検



★長年ご使用の洗濯機の点検を

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- 脱水槽が止まりにくい。
- 水漏れがする。(ホース、水槽、給水つぎて)
- こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- 本体にさわるとピリピリ電気を感じる。
- 据付が傾いたりグラグラしている。
- 電源を入れても、動かないときがある。
- タイマーが途中で止まることがある。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- そのほかの異常・故障がある。
- 電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。

ご使用
中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

この製品の使いかた・お手入れ・修理などは、お買上げの販売店へご相談ください

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口

●お電話の前に、本取扱説明書の「修理を依頼される前に」もご覧ください。

TEL 0120-3121-11

**携帯電話・050-3155-1111(有料)
PHSから**

(FAX) 0120-3121-34

■受付時間：9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日、祝日)

年末年始は休ませていただきます。

《発信者番号通知のお願い》

「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」を
ダイヤルしておかけください。

修理のご依頼や修理に関するご相談窓口

スマートフォンやタブレットから

①コードを読み取る

② **出張修理のWeb受付** ボタンから入力画面へ

③製品型式など必要情報を入力



コードが読み取れない場合やパソコンからは

●検索からアクセス

日立家電修理 WEB

検索

<https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/inquiry/repair/web.html>



オペレーターとの通話をご希望の場合は

TEL 0120-3121-68

**携帯電話・0570-0031-68(有料)
PHSから**

(FAX) 0120-3121-87

■受付時間：9:00～18:00(月～土)、9:00～17:00(日、祝日)

《発信者番号通知のお願い》

「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」を
ダイヤルしておかけください。

- ご相談・ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

部品のご購入は、商品お買上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または下記の「パーツショップ」へご依頼ください。
日立の家電消耗品・部品直販「パーツショップ」<https://parts.hitachi-cm.com/pshop/>

保証とアフターサービス (続き)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】(本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります)

	<p>【設計上の標準使用期間】 7年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。</p>
---	---

(設計上の標準使用期間とは)

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものではありません。

■標準的な使用条件

日本工業規格 JIS C9921-4による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	20°C	
	湿度	65%	
負荷条件	負荷	標準容量	取扱説明書の表示による
	コース	洗い(7分)→脱水(3分)→すすぎ(5分)→脱水(3分)	
	給水圧力	0.03~0.8MPa	
	給湯・給水温度	20°C±15°C	
使用時間 及び回数	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	上記行程での時間(18分)	
	1年間の使用日数	365日	
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年	

注記：温度20°C、湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。

(経年劣化とは)

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

長期使用製品安全表示制度 窓口(商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口)

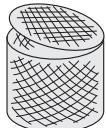
TEL 0120-3121-11 携帯電話・PHSから 050-3155-1111(有料)

■受付時間 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日、祝日) 年末年始は休ませていただきます。

《発信者番号通知のお願い》「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

<p>■洗濯機用トレー (YT-2) 希望小売価格 7,000円(税別)</p> 	<p>■毛布洗いネット (MO-F40) 希望小売価格 2,800円(税別)</p> 
<p>■糸くずフィルター (NET-T50H2) 希望小売価格 400円(税別)</p> 	<p>■延長用排水ホース(約80cm) (KW-50K1 023) 希望小売価格 800円(税別)</p> 

上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

種類	電気洗濯機	標準水量	高(3) 43L	質量	約27kg
電源	100V 50/60Hz共用		中(2) 33L	定格時間	洗濯側: 40分
洗濯方式	うず巻式		低(1) 25L		脱水側: 10分
標準洗濯容量	6.5kg	外形寸法	幅800mm×奥行434mm ×高さ882mm	消費電力	洗濯側 345/420W
標準脱水容量	6.5kg			50Hz/60Hz	脱水側 115/140W



このJ-Mossグリーンマークは、特定の化学物質(鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル))の含有率がJIS C 0950:2008による基準値以下であることを示しています。(規定の除外項目を除く)

詳しい情報は、当社のホームページでご覧いただけます。 <https://www.hitachi-gls.co.jp/about/environment/jmoss/>

「日立の家電品お客様サポート」のご利用

スマートフォンやパソコンで所有する家電品を一覧管理でき、お知らせやサポート情報などが入手できます。

サポート内容

- ▶ 家電品の登録^{※1}
- ▶ お知らせ
- ▶ よくあるご質問
- ▶ お問い合わせ

① コードを読み取る



② 画面の案内に従ってお客様 サポートのご利用や家電品 の登録^{※1}を行う



※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。(無料)
保証書または製品本体の銘板に記載されている製造
番号を入力してください。製品本体のコードから登録
することで製造番号の入力を省略できます。

●コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。

<https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>

●ご利用の環境によっては、コードの読み取り、ページの表示ができない場合があります。

●ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

お客様メモ

後日のために記入しておいて
ください。サービスを依頼さ
れるとき、お役に立ちます。

購入店名

電話 () -

ご購入年月日

年 月 日

廃棄時にご注意ください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、
再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き
渡すことが求められています。

◎日立グローバルライフソリューションズ株式会社

3-K5576-6B

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111